

開始ノ意固ナルヲ以テ彼等進工場所鎖ヲ断行シ組合加入ノ職
工ノ抗争ニ帯シテハ多少ノ手當金ヲ増額シ解決スル意嚮ナリ
一 従業員側ノ動靜

従業員中個々ニ帯係ナク職工ハ工場主ニ合情シ十五日分ノ解
雇手當ヲ返納シ申出ラタル者アルニ及シ内田金藏外十一名ノ
職工ハ毎日工場ニ来タリテ氣勢シ示シ店ルカ職工側ハ全團ノ
工場所鎖ハ営業ノ行詰リニアラスシテ組合帯係ノ職工ヲ驅逐
スヘシ計息的ニ行ヒタルモノト認メ工場所鎖發表前ニ於ケル
製品帯係及組合帯係外ノ職工ノ動靜ヨリ考察シ申至ハ組合
ニ帯係ニナル職工ヲ以テ更ニ帯係ヲ帯始スルモノト觀測シ彼
等抗争ノ意嚮ナリ
右及申(通)紙信也

5. 10. 29
1835

芳秋第三八六七號

昭和五年十月二十八日

善視總監丸山鶴吉

内務大臣 安達謙藏殿

社會局長 官殿

各 庶務部長 友股

東京鐵筋製作會社出傷第議ニ関スル件 (第一報 發生)

要旨 (1) 標記社ニテ職工三十四名中十四名(婦人八)ヲ本月十四日解雇セルノ事日本材料業

ノ在リ後既頃中

(2) 被解雇者ハ本月二十日午後九時其宅ニテ不意言動アリタルニ依リ其母者名ヲ警察取調ナリ

一 第議發生ノ場所 深川区千回町六一四次記會社内

二 事業主側

名 稱 東京鐵筋製作株式會社